

令和4年度環境とやま県民会議 事業計画

1 活動方針及び統一活動

私たちは、廃棄物などの身近な問題から、地球温暖化やプラスチックごみによる海洋汚染などの地球的規模の問題に至るまで、複雑かつ多様な環境問題に直面している。これらの環境問題に適切に対応し、本県の素晴らしい環境を次の世代に引き継ぐためには、私たち一人ひとりが、様々な環境問題を自分の問題として捉え、自らライフスタイルや事業活動のあり方を見直すなど、問題の解決に向けて行動を始め、その輪を広げていくことが求められている。

こうしたことから、当県民会議は、「脱炭素社会づくり・循環型社会づくりの推進」及び「環境教育・環境保全活動の推進」を柱とし、県民、事業者、民間団体、行政が情報を共有し、一体となって各事業を展開していく。

とりわけ、富山県が目標とする「水と緑に恵まれた環境が保全・創造され、人と自然が共生しながら、持続可能でウェルビーイング（真の幸せ）が向上した社会」の実現に向けた活動を積極的に展開するとともに、統一活動として「とやまエコ・ストア制度」の普及・拡大や、とやま環境フェアなど各種イベントの開催・参加を推進し、県民のエコライフの定着・拡大を図ることとする。

2 事業内容

(1) 脱炭素社会づくり・循環型社会づくりの推進

<脱炭素社会づくり>

① エコドライブ推進運動の実施

(ア) エコドライブの推進

- ・ 主 催 エコドライブとやま推進協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・ 開催時期 令和4年4月～令和5年3月
- ・ 内 容 二酸化炭素排出量の削減だけでなく、燃費向上や交通安全にもつながるエコドライブについて継続した実践を促すため、各種イベント等において普及啓発を行う。

併せて、エコドライブとやま推進協議会が募集しているエコドライブ宣言に協力し、エコドライブ実践者の拡大を図る。

(イ) エコドライブ実践促進事業

- ・ 主 催 エコドライブとやま推進協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・ 開催時期 通年
- ・ 内 容 エコドライブ実践の一層の定着・拡大を図るため、とやま環境フェアリアル会場における体験会の開催など、気軽にエコドライブを体験できるシミュレーターを活用した普及啓発を行う。

- ②「新しい生活様式」を踏まえた公共交通利用をテーマとした県民運動への参加
- ・主 催 富山県公共交通利用促進協議会
 - ・内 容 鉄軌道の施設整備及びバス路線の運航維持等を支援するなど、公共交通の維持活性化・利用促進に向けた取り組みを推進する。
- ③宅配便の「再配達防止」の普及促進
- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
 - ・実施時期 随時
 - ・内 容 近年の通信販売市場の拡大に伴い、二酸化炭素排出量の増加などで問題になっている再配達を削減するため、各種イベント等において普及啓発を行う。
- ④ゼロカーボンアクションの普及促進
- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
 - ・内 容 とやま環境フェア等のイベントを通じて、脱炭素ロードマップで示された「ゼロカーボンアクション30」や国民運動「COOL CHOICE（賢い選択）」の取り組みを啓発する。
- ⑤クールビズ、ウォームビズの実践及び啓発
- ・主 催 環境省、環境とやま県民会議
 - ・開催時期 夏季、冬季
 - ・内 容 夏のオフィスの冷房時の室温（目安として28℃）の適正管理等を行うことにより、一人ひとり個々の事情に応じて、快適で働きやすい軽装を」実践する（クールビズ）。また、冬の暖房時は、一枚多く着るなどの工夫で、室温は20℃を目安として暖房に頼りすぎることなく、快適に過ごすスタイルを実践する（ウォームビズ）。を実践する。これらの取り組みを実践するとともに県民等への普及啓発を行う。
- ⑥企業の脱炭素化の推進
- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団（エコアクション21地域事務局、富山県地球温暖化防止活動推進センター）
 - ・実施時期 令和4年4月～令和5年3月
 - ・内 容 中小企業向けの環境マネジメントシステムである「エコアクション21」制度の普及を図るとともに、「エコアクション21自治体イニシアティブ・プログラム」を実施し、事業者の認証・登録を促進し、持続可能な社会づくりを図る。
また、企業の脱炭素化を推進するためのセミナー等による啓発を図る。

<循環型社会づくり>

①とやまエコ・ストア制度普及・拡大事業

- ・主 催 とやまエコ・ストア連絡協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 とやまエコ・ストア制度登録事業者が県民と協働で行う環境配慮行動を促進するとともに、新たに「エコ・ストア」としてレジ袋削減、3R等に取り組む事業者を引き続き募集・登録し、その活動を支援するなど、「とやまエコ・ストア制度」のさらなる普及・拡大を図り、県民のエコライフの定着・拡大を推進する。また、使い捨てプラスチックの排出抑制を図るため、食品トレイについて、ばら売り、袋売り等のトレイを使用しないノートレイや、紙や植物を使用したトレイやリサイクルトレイなどのエコトレイへの転換を促進する。

②家庭系食品ロス削減対策事業

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 本県の食品ロスの課題である「手付かず食品」の削減に向けて、家庭の未利用食品を福祉団体等へ寄付するフードドライブの定着に向け、実施団体に資材貸し出し等の支援を行うほか、食品提供先とのマッチング等を実施する。
また、家庭で余っている食材を持ち寄って料理するサルベージ・パーティについて、本県が認定したサルベージ・サポーター（講師）と開催を希望する団体等とのマッチングを行う。

③いつでも、どこでもリサイクル促進事業

- ・主 催 富山県
- ・内 容 民間事業者等による資源物の回収拠点を認定し、住民に啓発することで、資源物回収量のさらなる増加を促進し、再生利用率の向上を図る。

④プラスチック地域循環促進事業

- ・主 催 富山県
- ・内 容 県内で発生する廃棄物やバイオマス資源を活用して新たなプラスチック製品の再商品化を検討・実施し、資源循環や県内事業者の新事業展開を推進する。

⑤とやま環境フェアの開催

- ・主 催 とやま環境フェア2022開催委員会（富山県、富山市、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団）
- ・開催期日 ウェブ会場：令和4年10月7日(金)～令和5年1月9日(月・祝)
(予定) 【10月は3R推進月間】
リアル会場：令和4年10月9日(日)、10日(月・祝)
- ・内 容 水と緑に恵まれた富山県の豊かな環境を守るとともに、よりよい環境を

創造するため、循環型・脱炭素・自然共生等をテーマに各種展示や実演、発表等を行い、環境保全活動の啓発を行う。

⑥環境とやま県民会議 啓発イベント

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議
- ・実施時期 令和4年10月10日(月・祝) (とやま環境フェア2022と併催)
- ・内 容 脱炭素社会づくり・循環型社会づくりを推進するため、功労者の表彰や取組事例の紹介等を行う啓発イベントを開催する。

(2)環境教育・環境保全活動の推進

①エコライフ・イベントの実施

- ・主 催 県内10市、富山県、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 地域での取組みを推進するため、県内10市において、地球温暖化防止やごみゼロなどのテーマに関する、「エコライフ・イベント」を実施する。また、構成団体ではブース出展等に積極的に参加し、エコライフの普及を図る。

②環境保全・環境教育に関する活動支援事業

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 (公財)とやま環境財団に環境保全相談室を設置し、各種相談に対応するとともに、県内で行われている様々な環境保全・環境教育活動について、ウェブサイト「エコノワとやま」を通じた情報を発信し、環境保全・環境教育活動の拡大を図る。また、エコライフの実践を促進するための普及啓発資機材の整備により活動支援の充実を図る。

③とやま環境未来チャレンジ事業

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 10歳の児童が、地球温暖化や食品ロス等の環境問題を学び、目標を決めて家族とともに家庭での対策を実践・自己評価する取組みを通じて、環境に配慮したライフスタイルの啓発や家庭における地球温暖化対策の推進を図る。
また、地球温暖化対策や食品ロス削減などエコライフに関する副読本を県内全ての小学4年生児童に配布し、学校での授業及び実践活動を支援する。

④スターウォッチング推進事業

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・開催時期 令和4年8月頃
- ・内 容 大気汚染のない清澄な大気の大切さや街の明かりによる光害について理解を深めるとともに、身近な環境保全活動の実践を推進するため、星空観察会を開催する。

⑤はじめてのエコライフ教室の実施

- ・主 催 富山県、（公財）とやま環境財団
- ・内 容 幼児期から（家族ぐるみで）エコライフの理解・実践・定着を図ることを目的として、幼稚園・保育所等に地球温暖化防止活動推進員を講師として派遣し授業を行う「はじめてのエコライフ教室」を実施する。